

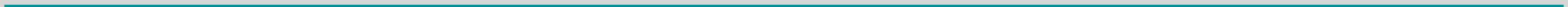
04 市場と反競争性

(入口・本体)

独禁法の講義2022_10k

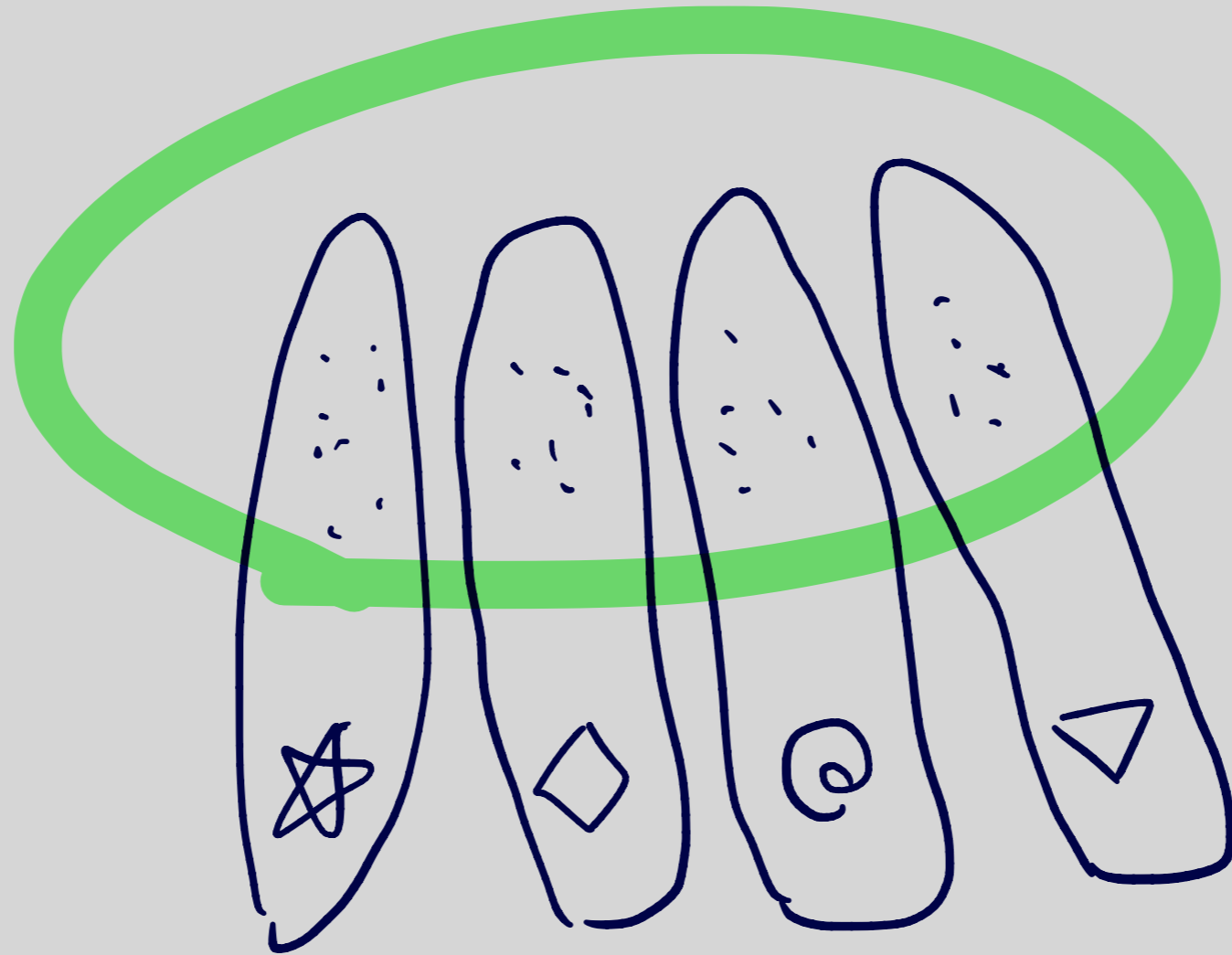
~~独禁法オンデマンド講義2022~~

入口



3

現在地確認



- * 市場シェア・集中度・セーフハーバー 59-60
- * 市場画定不要論 9k56-57 10k58-59 10k60-62
- * まくら程度
- * 市場画定の存在意義 9k57-59 10k59-60
- * 法的判断のプロセスの中間段階
- * 供給の代替性 9k60-61) → 基本的な言い換えとL2
10k43-44 ^
- * 飛ばしてもよい
- * 新幹線飛行機問題 9k61-63 10k62-63

本体

- * 市場シェア
- * 市場集中度・・・HHI
- * セーフハーバー
- * これらの算出には市場画定が必要

市場画定の存在意義

10k59-60

9k57-59

* 伝統の尊重

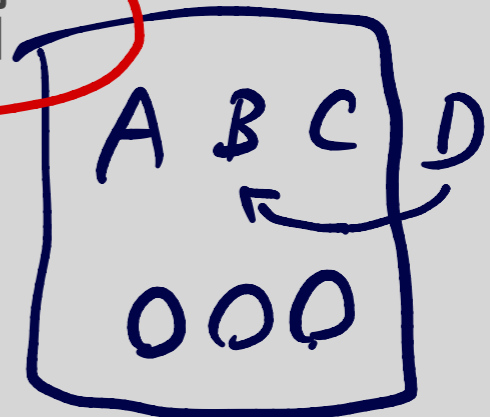
* 視覚化、課徴金、その他

* 法的判断のプロセスの中間段階

* 迅速判断 ... 市場画定

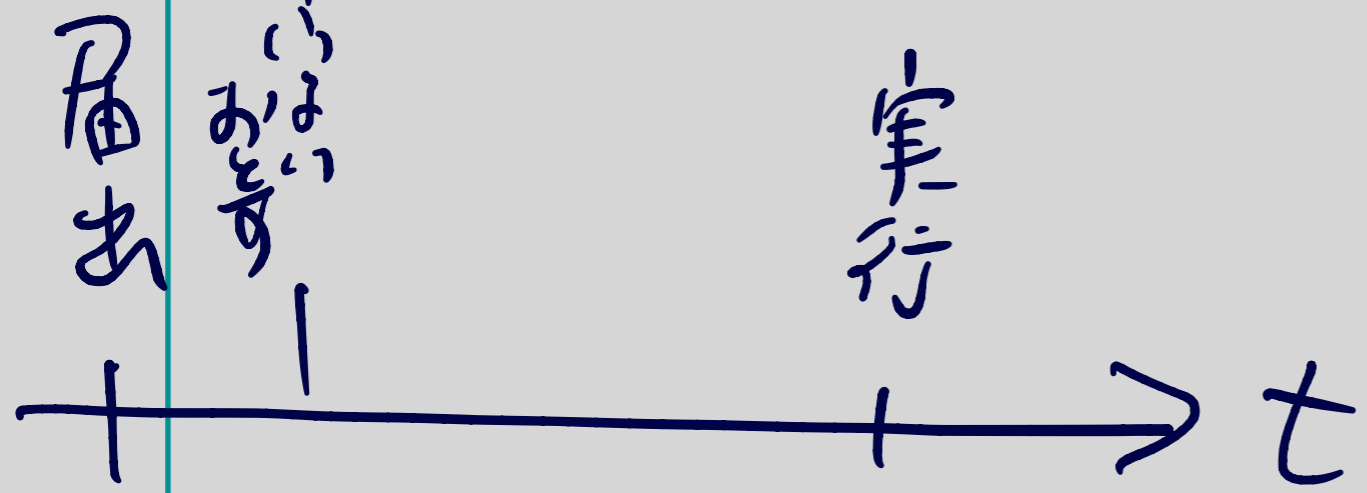
* 敗者復活

* 需要者の範囲を自覚的に検討するきっかけ



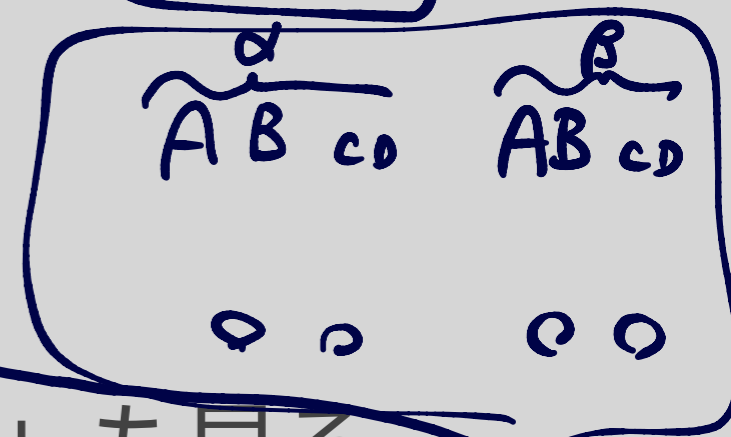
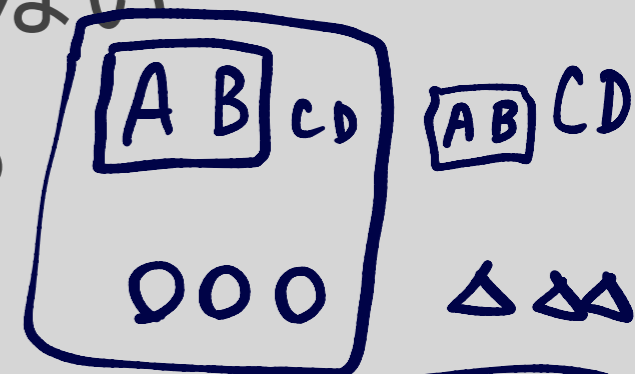
10k21

P21
④



供給の代替性の発展 9k60-61 10k43-44

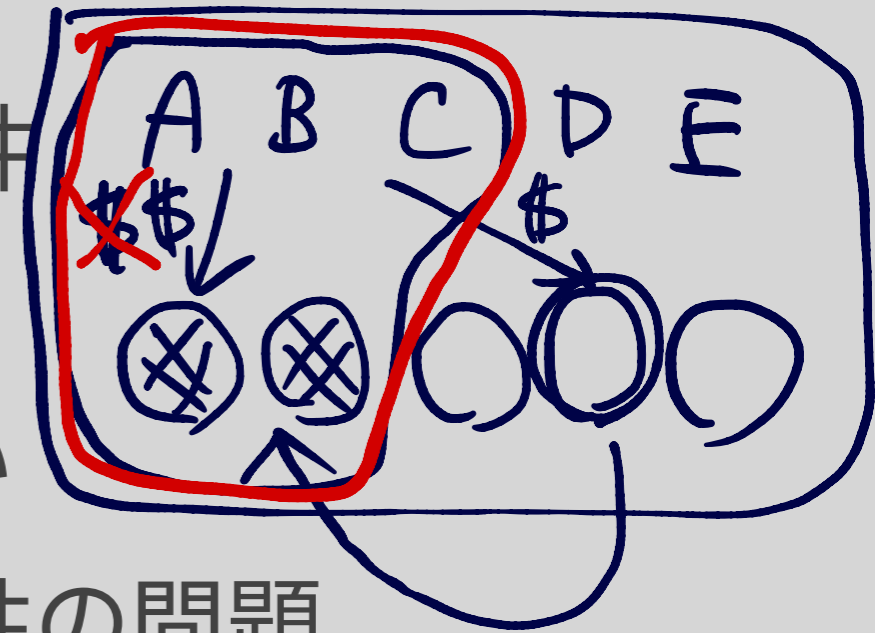
- * 反競争性でなく市場画定の段階で考える意義
 - * 早く青信号がほしい
- * 状況が異なる2つのものは一緒にしない
 - * 青信号が早く出ることはなくなる
- * 結局の存在意義
 - * 市場の数を減らして簡便化する
- * 結局のルーティン
 - * 市場画定では「需代」も「供代」も見る
 - * 状況が異なる場合は反競争性の段階で考慮



* 米国由来のよくある説明

* submarketが画定される条件

- ▶ 供給者が、~~差別化~~できる
- ▶ 需要者が、横流しできない



* 市場画定の問題でなく反競争性の問題

* 市場の成立を認めておけば、事案ごとの柔軟・実質的な対応が可能

- ▶ NTT東日本最高裁判決
- ▶ H30企2p13 (アート紙と上質コート紙)